



◆シリーズ 60  
イヌワシのふるさと  
生物多様性豊かな南三陸を未来へ- 2017-  
講師・パネリスト紹介



**小松 守 (こまつ まもる)**

秋田市大森山動物園園長

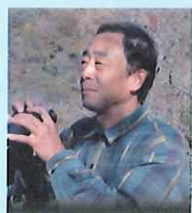
秋田市生まれ、帯広畜産大学獣医学科卒。1975年から秋田市大森山動物園に勤務、それ以来43年間動物園一筋。1998年から動物園長。元日本動物園水族館協会・種保存委員会事務局長。趣味は温泉と酒。



**佐藤 太一 (さとう たいち)**

株式会社 佐久 専務取締役、南三陸森林管理協議会事務局長

宮城県出身。みちのく伊達政宗歴史館非常勤学芸員、理学博士。東日本大震災を機に家業の株式会社佐久に入社し、林業の新しいビジネスモデル構築に取り組む。南三陸杉の森林認証 (FSC) 取得にも尽力した。



**山崎 亨 (やまざき とおる)**

アジア猛禽類ネットワーク会長、クマタカ生態研究グループ会長、赤谷猛禽類 WG 座長、獣医師、日本自然保護協会会員

鳥取大学獣医学科卒業後、信州大学教育学部生態学研究室で鳥類生態学を学ぶ。日本イヌワシ研究会の事務局長を歴任するなど、長年にわたり、イヌワシやクマタカの生態研究および自然環境保全に取り組んでいる。



**鈴木 卓也 (すずき たくや)**

南三陸ワシタカ研究会、南三陸ネイチャーセンター友の会会長、南三陸ふるさと研究会事務局、波伝谷高屋敷ふるさと資料館館長

2007年まで志津川町役場 (合併後は南三陸町役場) に文化財保護担当として勤務。退職後、母の生家を改装した「農漁家民宿かくれ里」を管理・運営していたが、東日本大震災により流出したため、現在は野鳥などの環境調査業にたずさわっている。



**島内 厚実 (しまうち あつみ)**

林野庁東北森林管理局計画保全部長

1990年農林水産省 (林野庁) に入省、関東森林管理局赤谷森林環境保全ふれあいセンター初代所長として赤谷プロジェクトを担当。イヌワシやクマタカの生息地の保全と森林資源の循環利用を両立させる森林管理の具体化に取り組む。

**<アクセス>**

**南三陸ポータルセンター**

〒986-0768

宮城県本吉郡南三陸町志津川字御前下 51-1

- 仙台から国道45号で約120分 / 約90km
- 三陸自動車道桃生津山ICから約30分 / 約30km
- 三陸自動車道登米東和ICから約20分 / 約15km

**アクセスマップ**



このプロジェクトはトヨタ自動車株式会社のトヨタ環境活動助成プログラムの助成を受けて実施しています。

**日本自然保護協会**